### おまたせしました。では使ってみましょう

・21CoDOMoS の URL は「http://www.u-gakugei.ac.jp/~jisedai/21CoDOMoS/」です。
\* PC から閲覧してください。

#### 1. トップページ



「授業の動画」をご覧になる場合はここをクリック [2.ログイン画面へ]

「使用方法」を確認する場合はここ をクリック

#### 2. ログイン画面



\*初めて配信システムを利用される方は、「初期登録」をクリックし、 氏名、所属、メールアドレス等を入力し、ユーザー ID とパスワー ドを設定してください。

#### 3. 閲覧教科選択画面



小学校・中学校の教科ごとに授業動画が表示されます。 閲覧したい 教科をクリックしてください。

#### 4. コンテンツの再生



▶をクリックすると動画が再生されます。



21CoDOMoSへの QRコード



## 動画で教え方を

学ぶ)

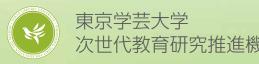
考える

議論する

21世紀のコンピテンシー育成のためのオンライン動画サービス

## 21CoDOMoS

<u>21</u>st century <u>Competency Development Online Moving-image Service</u>





# 21CoDOMoS 動画で教え方を学ぶ、考える、議論する。

今、文部科学省や OECD (経済協力開発機構) が進める教育改革において、 学校教育でコンピテンシー (資質・能力) を育てよう 主体的・対話的で深い学びを実現しよう

という大きな動きがあり、先生方の中には疑問や戸惑いがあるようです。

- ・今やっている授業と何がちがうのでしょうか?
- ・急にやり方を変えられない! どうすればよいですか?

・他の先生の授業を見てみたい! でも機会がなくて…。

そこで、東京学芸大学次世代教育研究推進機構 (NGE) は、コンピテンシーを育てることをねらいとした授業の動画配信を行うことにしました。それが、21CoDOMoS のシステムです。

※教員養成の現場でも、特に教育実習の前にとても役立ちます。

## < 21CoDOMoS ではこんな情報を発信します>

### ①教え方を学ぶ



先生、児童生徒、教室全体の 3視点の映像。(切替可)

→<u>実際の授業を</u> 見学している臨場感。

## ②教え方を考える



授業実践者、研究者、協力者 による授業解説。

→研究授業の実践者解説 や専門家のコメントを 画面上で実現。

### ③教え方を議論する



いいねやコメント投稿で、 他の先生方と議論ができる。

→<u>研究授業での</u> ディスカッションを実現。

#### 配信予定の教科等

小学校:国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、保健、道徳、総合的な学習の時間、特別活動中学校:国語、社会、数学、理科、音楽、美術、家庭、技術、保健、体育、道徳、特別活動

## < 21CoDOMoS の詳細>

先生・児童生徒・教室 全体の3視点から授業 を同時に見ることがで きます。

テロップの左上は、コンピテンシーのどの面に関わっているのかを、中央は活動内容や授業意図を説明しています。英語の字幕が加わる版もあります。

先生や児童生徒の発話 そのものが字幕で表示 されるので、それぞれ のやり取りが可視化さ れ、分かりやすくなっ ています。

移動ボタンで主画面が 切り替わります。

「いいね」の箇所は タイムライン上に表示



左側の授業動画を見ながら、授業実践者による授業の解説を聞く事ができます。

研究者・協力者の 解説やコメントです。

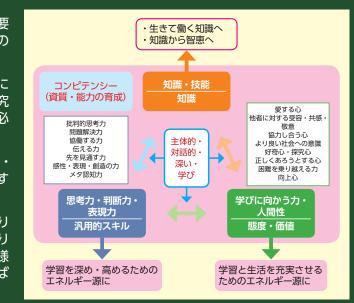
授業について参考になった箇所に「いいね」をつけることができます。

板書や学習指導案を見ることができます。

投稿欄では、授業につ いてのコメントを投稿 し、他の先生方と議論 できます。

#### く参考: コンピテンシー(資質・能力) を育てるとは?>

- ・右図のようにコンピテンシー(資質・能力)は3つの要素からなるとされ、上側が文部科学省、下側が OECD の用語で内容はほぼ同じです。
- ・授業を通じてこれらのコンピテンシーを育てていくためには、知識を伝えるとともに、問題解決力や好奇心・探究 心などの育成にも関わる授業の手立てや準備を考える必要があります。
- ・コンピテンシーが育成されてくると、学習を深め・高め・ 拡げ・持続させたり、生活や社会活動を充実させたりす るエネルギー源として働きます。
- ・授業では、自分から進んで(主体的)、他の人とやりとりし(対話的)、「なぜ・どうして」を問いながら知識を掘り下げていく(深い)学びが求められます。その際の多様な指導方法・技術は「アクティブ・ラーニング」と呼ばれています。



☆ 投稿 O 返信 通報 編集 削除